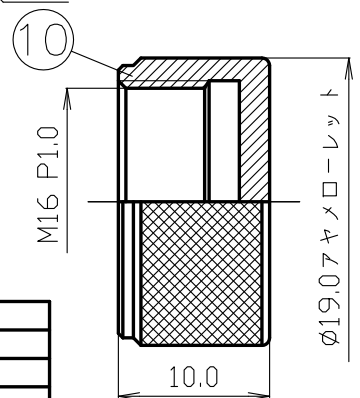
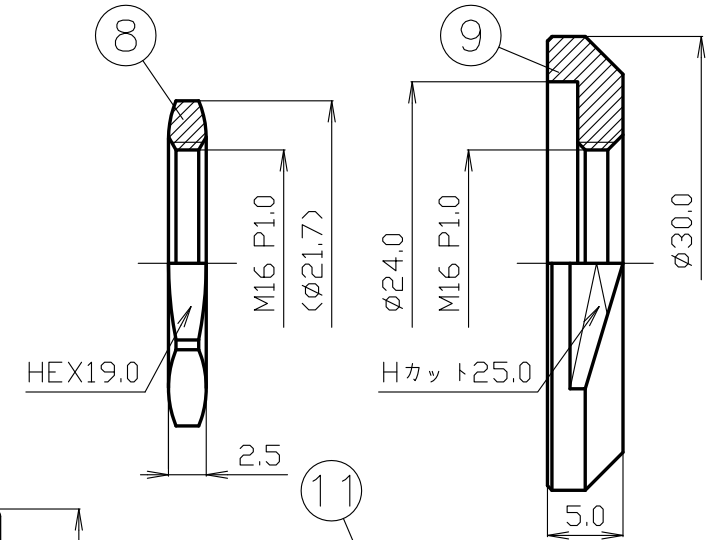
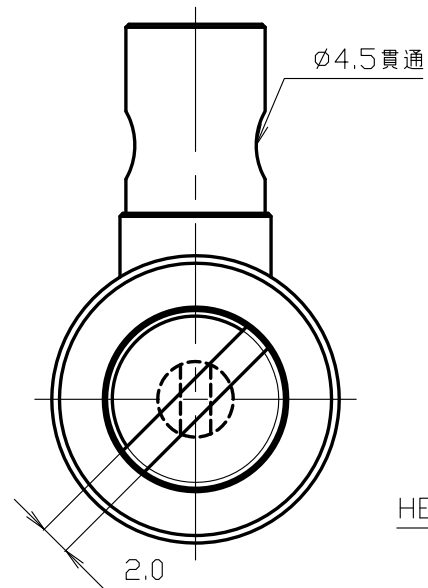
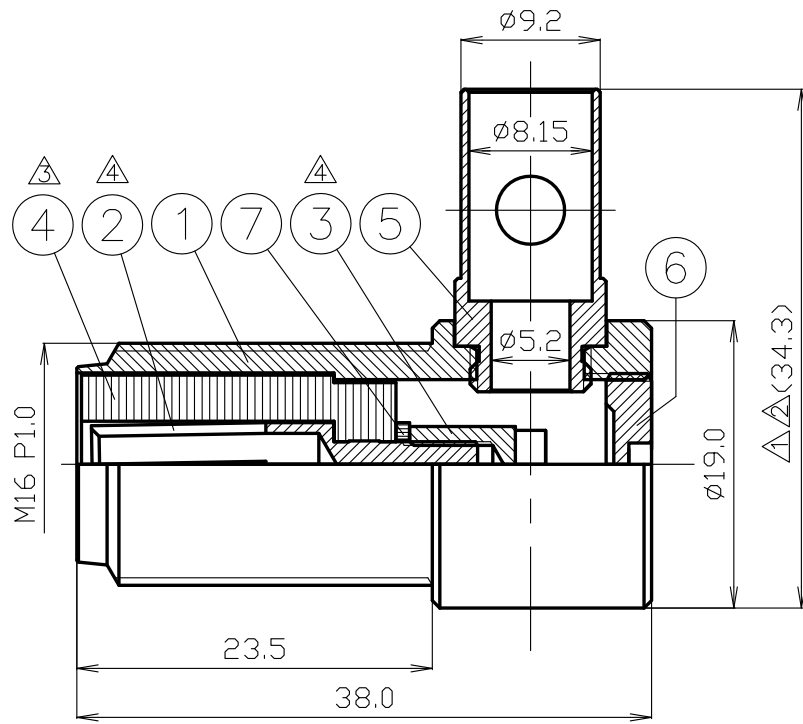


番号	変更・記事	日付	確認
△	<33.5> → <34.0>	97.02.26	済
△	<34.0> → <34.3>	2001.11.05	済
△	絶縁体 形状全面変更	2001.11.20	済
△	中心コンタクト、ピンアダプター 形状変更	2001.11.20	済
△	統一の為表記全面変更	2007.12.18	済
△	社名変更	2012.02.17	(本)



※添付品 30mmリング、16mmナット、M-C、
 φ10 チューブ (のり無し) 色:黒

番号	部品名	材質	数量	処理	備考
11	スミチューブC	架橋ポリオレフィン	1	--	
10	M-C	黄銅	1	Ni	
9	30mmリング	黄銅	1	Ni	
8	16mmナット	黄銅	1	Ni	
7	スプリングワッシャー	--	1	--	
6	ウラブタ	黄銅	1	Ni	
5	横棒	黄銅	1	Ni	
4	絶縁体	△ ジラコン	1	--	
3	ピンアダプター	△ 黄銅	1	Ag	
2	中心コンタクト	△ 黄銅	1	Ag	
1	シェル	黄銅	1	Ni	

尺度 2/1	製 図	検 図	承 認	確 認	品 名
	山	檜	山	中村	M-5DL
	'12.02.17	'12.02.17	'12.02.17	'12.02.17	
単位 mm	口	澤	本	義	
日付 '91.07.26	投影法	株式会 社	トコネ		
		TO-CONN	CO.,LTD.		図 番 H-0250068-02

仕 様 書

品 名 M-5DL

No. 0250751

図 番 H-0250068-02

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS C 5419
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 200MHz
 4 公称インピーダンス 不整合

確 認	検 印	作 成
山 12.06.05 本	檜 12.06.05 澤	山 12.06.05 本

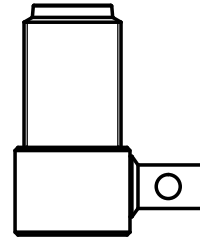
	項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番 H-0250068-02)	異常のないこと
2			
3			
4	絶縁抵抗	DC 500V	100MΩ以上
5	耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
6	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は 直流で1mVを越えない方法にて	3mΩ以下
7	特 性		
8	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9	雌コンタクトの 保持力	規格ピンゲージにて0.98N以上の保持力	異常のないこと
10	ケーブル接続強度	軸方向引張力200N以上	異常のないこと
11	結合部接続強度	軸方向引張力300Nを加えたとき	異常のないこと
12	繰り返し動作	5000回の抜き差し後	接触抵抗は 10mΩ以下

GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012. 02. 17
2	公称インピーダンス, ケーブル接続強度, 結合部接続強度 誤記修正	2012. 06. 05
3		

M-5DL 取付仕様書

部品構成



シェル

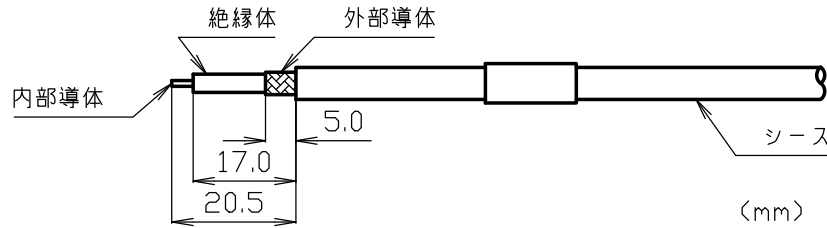


収縮チューブ

図 番 H-0250068-02

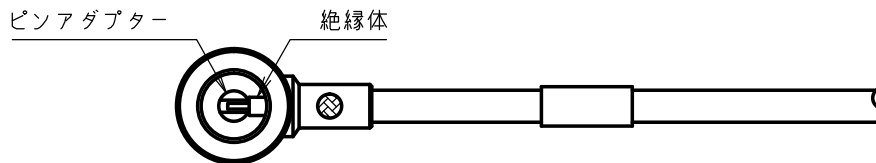


作成	確認
山 '12.02.17 口	山 '12.02.17 本

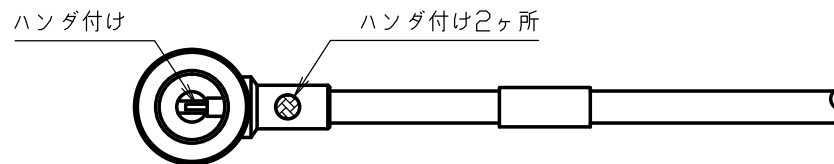


番号	変更・記事	日付
△1	社名変更	2012.02.17
△2		
△3		

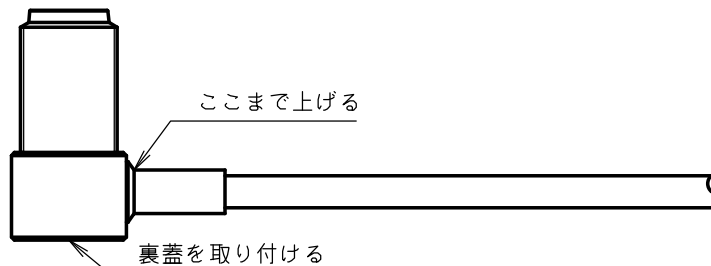
1 シェルに装着してある裏蓋を外し、同軸ケーブルへ収縮チューブを通し、シースを図中の寸法で切りとる。



2 切り取った同軸ケーブルにシェルを装着する。この時内部導体がピンアダプターの溝に収まるように挿入し、絶縁体がピンアダプターに当たるところまで入れる。



3 ピンアダプターと内部導体に対してハンダ付けをして、一度手で引っ張る。(約3Kgf)次に横棒の穴と外部導体に対してハンダを流し込む。



4 ハンダ付けが終わったら、収縮チューブを図の位置まで上げてドライヤー等で熱する。次に最初に外した裏蓋を取り付けて作業を終了する。